



地域医療連携室だより Vol. 89

平成 28 年 11 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

リハビリテーション部技師長就任のご挨拶

リハビリテーション部技師長 平田 順一



平成 28 年 4 月からリハビリテーション部技師長に就任致しました平田と申します。

リハビリテーション部では脳血管疾患、運動器疾患などの早期リハビリテーションだけでなく、循環器、がん、糖尿病などの内部障害、脳性小児麻痺等の発達障害、嚥下障害、神経難病や緩和ケアのリハビリテーションを実施しています。さらに昨年度から呼吸器リハビリテーションの認定を受け、現在スタッフの増強に取り組んでおります。

最近では高齢化に伴い、肺炎などによる「廃用症候群」も増加しており、病棟との連携を密に保ちながら早期離床に努めています。

地域医療への取り組みといたしましては、訪問看護ステーションに作業療法士が 1 名専従で異動し訪問リハビリテーション業務を開始致しました。また理学療法士 1 名と作業療法士 1 名を兼務扱いとし必要に応じてサポートする体制を整えました。

今後は各機関の連携のもと地域の先生方のご協力を頂きながら、さらなるサービスの向上に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



大津市民病院 災害医療訓練

10 月 15 日(土)9 時～12 時、大津市民病院において、実施者・見学者合わせて 100 名を超す職員が参加し、災害医療訓練を実施しました。

訓練想定は、休日の 9 時、滋賀県北西部を中心とした大規模地震が発生し、大津市内で多数の傷病者が発生、病院内も被災したというもので、当院 1 階正面玄関・患者相談支援室、2 階地域医療連携室・外来(C/D ブロック)フロアを使用しての実施でした。

この訓練は毎年実施していますが、災害医療という非日常場面において大混乱が予想される中、院長を中心とした各リーダーの統率の元、各部署・各個人がどの様に役割を発揮するかや課題などについて再認識する機会となりました。

大規模災害はいずれ必ず起こることを想定の上、今後もいざという時の備えのために職員一同気を引き締めて災害対策に取り組んでいきます。



老年期ケアチームの紹介

認知症看護認定看護師 石原 菜緒子



2025年には、65歳以上高齢者の約5人に1人が認知症になると予測されており、認知症は誰もがかかる可能性のある身近な病気となっています。それに伴い、認知症を抱えながら、入院される方も年々増えてきています。

当院では、本年12月より老年期ケアチームが始動します。様々な職種で構成され、それぞれの専門性を活かし、行動・心理症状などの問題にチームで対応していきます。主な介入対象者は、認知症患者様です。

認知症患者様が入院をされると、行動・心理症状の悪化により安全に治療を受けることが困難になることや、ADLや認知機能の低下・生活の質の低下、入院の長期化など、さまざまな問題が起ってきます。老年期ケアチームは、そういった問題に対し、カンファレンスや病棟ラウンドを通して、認知症の方が安全に治療を受け、安心した生活の継続、さらには、早期に住み慣れた地域へ戻れるような活動を行っていきます。



認知症看護認定看護師
和田 みどり



認定看護教育課程を修了し、今年の7月に認知症看護認定看護師の認定を受けました。

日頃から私は、「認知症患者様の意思を尊重し権利を擁護すること」や「行動・心理症状を悪化させる要因・誘因に働きかけ予防・緩和すること」を考え実践しています。

認知症の症状や程度は、人それぞれであり、認知症看護においても明確な答えはありません。常に認知症患者様の視点に立つことを忘れず、ひとりひとりの今まで生きてこられた背景を大切にしていきます。また、言葉にできない思いをくみ取り、その思いに寄り添いながら、その人らしく穏やかに過ごせる療養環境を支援したいと考えています。

今後とも、よろしくお願いします。

本年7月に認知症看護認定看護師に認定されました。

どうしたら認知症の方が安心して過ごせるか、言葉かけや関わりは、日々考えさせられます。しかし、認知症看護の過程では、意外な展開や気づき、気持ちのふれあいがあります。そこが認知症看護の醍醐味でもあると思っています。

認知症の方が安心して、治療を受け、自宅など元の場所に早期に戻れるよう、その「人」「生活」に重きを置いた取り組みをしていきたいと考えています。スタッフと協働して、支援的な療養環境づくりを整え、認知症看護ケアの質の向上を目指します。

病院訪問を実施しました！



9月から10月にかけて日頃お世話になっている病院のうち17病院に地域医療連携室の退院支援相談員がうかがいました。

今回は転院で連携している療養型病院等に加え、一般病院にもうかがい、転院支援、退院支援加算等についての情報交換をさせていただきました。

今後、ますますよりよい連携や退院支援ができるよう、相談員一同尽力して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします！



大津市民病院大学

公開講座

糖尿病110番

～心血管病に

かからないために～

11月3日(木・祝)

9時30分～12時30分(9時開場)

大津市民病院2階 外来ホール

駐車場・参加費無料

どなたでもご参加いただけます！

第4回 健康講座

9月29日(木)14時～15時、大津市民病院9階大会議室にて平成28年度第4回大津市民病院大学健康講座を開催いたしました。

講師は、大橋 潤一(リハビリテーション部理学療法士)、テーマは「腰痛・肩こり・膝の痛みの予防運動について」、参加者は院内6名 院外59名合計65名でした。

腰痛・肩こり・膝の痛みに対してそれぞれ予防運動を紹介し、参加者の方々に実際に運動をしていただきながらリラックスした雰囲気の中で楽しくお話をされました。

家庭でも実践でき、しかも継続可能な運動を紹介されたことで参加者からは予防に対する意識が高まり、実践に意欲的な感想が多数寄せられました。



第5回 健康講座

10月20日(木)14時～15時、大津市民病院9階大会議室にて平成28年度第5回大津市民病院大学健康講座を開催いたしました。

講師は、平沼 修 医師(呼吸器内科診療部長)、テーマは「手術できない肺がんに対する治療について」で、参加者は院内4名院外45名合計49名でした。

内容は、肺がんの疫学、タバコとの関係、分類、進行度、検査、診断、治療方針、治療薬と広範囲に渡るもので、中でも今回のテーマになっている手術以外の治療方法(特に治療薬)については丁寧かつポイントを押さえた説明でした。

やや専門的な内容も含まれていましたが、終了後の参加者アンケートでは、「専門的な内容が含まれていて少し難しかったが大変勉強になった」「肺がんになっても大津市民病院に来ればいろいろな治療法が有ると言うことがわかりほっとした」「肺がんに対する最新の治療薬について知ることができ、希望が持てた」などの意見があり、とても好評でした。



● 次回の開催予定 ●

大津市民病院9階大会議室
駐車場・参加費無料

11月21日(月) 14時～15時

テーマ:「めまい・難聴など耳の話」

講師:耳鼻咽喉科診療部長 佐藤 尚志 医師

※ 当初開催日から日程変更しています。

* 開催のお知らせ *

大津市民病院9階大会議室／駐車場・参加費無料／事前申込み不要

● 化学療法研修会

11月30日(水)

17時30分～18時15分

テーマ:「抗腫瘍薬による皮膚障害
—分子標的治療薬を中心として—」

講師:皮膚科診療部長

末廣 晃宏 医師

対象者:化学療法に携わる

すべての医療従事者

お問い合わせ・地域医療連携室
TEL:077-526-8192

● NST 勉強会

11月24日(木)

17時30分～19時

テーマ:「腎臓疾患と栄養管理」

講師:内科医長(腎臓内科)

中澤 純 医師

お問い合わせ・栄養部/西田
TEL:077-522-4607(代表)

● ER 症例発表会

(大津市民病院救急診療科)

12月1日(木)

17時30分～

当院研修医(8名・予定)が、ER・ICUで経験した興味深い症例を考察を含め発表いたします。是非ご参加ください。

お問い合わせ・地域医療連携室
TEL:077-526-8192